

引き裂かれた都市から包摂型都市へ 参加者案内

第7回 東アジアインクルーシブシティネットワーク(EA-ICN)の構築に向けた ワークショップ

主催：大阪市立大学都市研究プラザ(海外センター・オフィス)

共催：ソウル研究院、韓国都市研究所、SH ソウル住宅都市公社、ソウル市城東区、京畿道始興市

後援：大阪市、大阪府堺市、大阪府八尾市、日本居住福祉学会

開催日程：2017年8月21日(月)～24日(木)

開催場所：堺市庁舎、八尾市立安中人権コミュニティセンター、大阪市内各地

趣旨

21世紀は「都市の世紀」と称されるように、世界的な規模での都市への人口集中が見られた。それに伴い、「貧困の都市化」のような、都市や特定の地域が貧困や排除と結び付いていくプロセスが注目されるとともに、都市空間の脆弱性の高まりに起因する都市問題への対応が喫緊の課題となっている。排除に立ち向かうために、不利を被っている集団や地域住民の声も見逃すことはできない。これまで、とりわけ東アジアの国や地域では、欧米の諸都市とは異なり、強力な政府のイニシアチブによってこのような問題に対応してきた。その結果、世界が目を見張るような経済成長を成し遂げてきた。これらの地域の経済や社会発展のプロセスを、開発主義や生産主義という観点から論ずる研究も増えてきている。

経済や産業再編のグローバルな圧力によりさらされている日本、韓国、台湾、中国(香港特別行政地域を含む)等、東アジアの国や地域は、安定した雇用どころか、ヘルスケア、教育、住まいを含む社会保障、さらに市民権に至るまでの、あらゆる包摂的な社会システムへのアクセスにおいて、一層厳しい現実さらされている。これらの諸課題に取り組むため、私たちは、ここ数年にわたり、東アジアインクルーシブシティネットワーク(EA-ICN)の形成に向けた努力を続けてきた。今回のワークショップは、そのネットワークのさらなる発展に向けた出発点として、EA-ICNのプラットフォームの構築を目指すものであり、都市間の交流をいっそう進めることが期待される。

参加者

都市研究プラザ海外センターからは5～10名の参加が期待される。主催都市である大阪はこの限りではない。

※受付時に、資料代1,000円のほか、昼食・交流会参加費(1日参加の場合4,000円、2日以上参加の場合9,000円)を別途申し受けます。

言語

本ワークショップは逐次通訳により、ローカルランゲージによって進められる。

要旨(翻訳済)提出締め切り

2017年7月25日までに各国で日中韓英語に翻訳を済ませたフルバージョンの原稿を提出する(翻訳前の要旨は6月30日必着：香港側のみ)A4で2枚以内厳守。

問合せ先・要旨提出先

大阪市立大学URP 先端的都市研究拠点(EA-ICN 担当宛)

E-mail: joint_office@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp TEL&FAX +81-6-6605-3444(直通)

アウトプット

終了後にURPレポートとして刊行予定

プログラム

到着&歓迎レセプション(8月20日(日)) Venue:新今宮界限

ワークショップⅠ：各都市における都市包容性にかかわる現状理解と実践経験の共有 (21-23日)

本ワークショップでは、現地視察と並行し、下記の5つのSession テーマに関連した各都市の関連施策及び民間実践の報告と自由討論を組み込んだ形で実施する。

- ① ジェントリフィケーション・空間政治、②社会的弱者(ホームレス・高齢者・障がい者他)と居住福祉実践、③失業者、④外国籍居住者、⑤その他の社会的弱者

<p>◆21日 8:30~8:50 Registration 9:00~12:00: Session 1：ジェントリフィケーション・空間をめぐる都市政治 (20分×4本) 10:20~10:30:休憩 10:30~12:00: Session 2：各都市における居住貧困層への居住福祉実践経験の理解と共有 その1 (20分×4本) 12:00~13:00 昼食 13:00~16:00:エクスカッション 16:00:浅香山へ移動 会場: 西成プラザ、西成区北西部・北加賀屋界限</p>	<p>Session 1: 各都市の実践経験を共有。各都市はテーマ(ジェントリフィケーション、団地再生・再開発等)に関連して各々二つ以上の報告を行う。行政サイドの政策システムに関する報告(関連条例等支援制度及び民間実践-社会的企業、コミュニティビジネス等)、各報告は10分(通訳含み20分)以内で報告する。 Session 2: ホームレスや障がい者をはじめとする社会的弱者への支援に向けた行政及び民間部門からの実践、各都市における居住福祉実践経験の共有。各国からは各々二つ以上の報告を行う。第一は行政側の政策システムにかんする報告(社会住宅制度及び居住支援サービス等)、第二に民間の居住資源(民間住宅ストック、支援組織・関連サービス)を活用した居住貧困層対象の民間団体による居住支援。各報告は10分(通訳含み20分)以内で報告する。</p>
<p>現地視察① 及び事例報告(17:00~18:00) 浅香山病院精神科病棟による「ココ今ニティー写真展」の取り組み・NPO kokoimaによる精神障がい者への居場所支援 報告：(20分×3本) ② アサダワタル氏他 NPO 関係者 懇親会：新今宮界限</p>	<p>大阪市における社会的弱者支援システムとハウジングと居住支援システムの理解 その1</p>
<p>◆22日 現地視察及び事例報告② 9:30~12:00 報告：(30分×1本) および現地視察 (案内：トッカビ朴洋幸氏・八尾市)</p>	<p>大阪市における社会的弱者支援システムとハウジングと居住支援システムの理解 その2</p>
<p>歓迎の挨拶：八尾市長 会場：八尾市立安中人権コミュニティセンター Session 3：14:00~16:00:各都市における居住貧困層への居住福祉実践経験の理解と共有 その2 報告：(20分×6本) 16:00~16:10 休憩 Session 4:16:10~18:10 多文化共生と外国籍支援 報告：(20分×6本) 懇親会：19:00~21:00 懇親会場：安中集会所(予定)</p>	<p>Session 3: Session2 の続き Session 4: 多文化共生と外国籍支援</p>
<p>◆23日 現地視察及び事例報告③ 9:30~12:00 報告：(30分×1本) および現地視察 (案内：泉北ほっとけないネット・スマイルセンター)</p>	<p>Session 5: 東アジア ICN ネットワークの構築に向けた各都市政府の期待と展望にかんする都市代表者の発言と提言 インクルーシブ都市ネットワーク構築に向けた共同宣言</p>
<p>Session 5:14:00~16:00:都市ネットワーク会議 歓迎の挨拶：堺市長 報告：(20分×6本) 報告者：京義道始興市、ソウル市城東区、ソウル市、台北市、香港市、大阪市・八尾市) 会場：堺市庁舎 送別懇親会：堺市庁舎内会場(予定)</p>	
<p>◆24日 ワークショップⅡ：ホームレス支援現場及び大阪市住まい公社リノベーションプロジェクトの視察 10:00~12:00:ホームレス支援現場、13:00~15:00：コーシャハイツ港1号棟リノベーションプロジェクト大阪市住まい公社</p>	